



カタール：Ras Gas が、LNG 第 3, 4 トレーンの入札を実施、2005-2008 年のカタール LNG 生産能力達成目標は 29 百万 T/Y に

(2000 MEES 10/9, 10/16, MEED 10/6, AOG 10/16, IGR 9/29)

Ras Laffan Liquefied Natural Gas Company (Ras Gas) は、10 月 3 日、同社で 3, 4 番目となる新たな LNG トレーン 2 基の建設に関する入札を開始したと発表した。カタールは、日本、韓国、インド等のアジア向け需要の急増を背景に、LNG 生産能力の増強に乗り出しており、2005～2008 年には、LNG 供給能力を現在の 2 倍以上となる 29 百万 T/Y に引き上げる計画である。

今回の入札には、Bechtel、千代田化工、日揮、Foster Wheeler の 4 社がそれぞれ国際コンソーシアムを組んで応札することが予想されており、Ras Gas は、2001 年 4 月までに契約の締結を完了し、2004 年初めより第 3 トレーン、更に数ヶ月遅れで第 4 トレーンの生産を開始させる計画である。

Ras Gas は、1993 年に設立された国際合弁企業であり、出資構成は、QGPC (63%), ExxonMobil (25%), Kogas (5%), 伊藤忠 (4%), 日商岩井 (3%)。

Al-Attayah エネルギー大臣は、10 月 10 日にドーハで開催された中東ガス会議において、下記概要にて、カタールの今後の LNG 能力増強計画を明らかにした。上述の通り、2005-2008 年の LNG 供給能力 (Ras Gas, Qatar Gas 計) を合計 29 百万 T/Y まで引き上げることを検討中。(次頁表参照)

(1) Ras Gas

今後の LNG 輸出供給先として、下記の韓国、インド向け大口輸出計画が挙げられており、この他にも、複数のアジア、欧州向け売買契約の交渉が進められている。

- ・Kogas (韓国) : 25 年間、4.8 百万 T/Y の長期売買契約を 1995 年に締結済み。
- ・Petronet (インド) : 25 年間 (2003 年スタート)、7.5 百万 T/Y (オプション 2.5 百万 T/Y 含む)

の長期売買契約を 1999 年に締結済み。

- ・Dakshin Bharat (インド) : 20 年間 (2003 年スタート)、2.6 百万 T/Y の長期売買契約(交渉中)

一方、生産能力は第 1 トレーン (1999 年 8 月完成)、第 2 トレーン (今年 4 月完成) を合わせ現状約 6 百万 T/Y (2 基計) であるが、上記販売計画を満足するためには、少なくとも 14.9 百万 T/Y 以上に上げる必要があり、今回、第 3, 4 トレーン (生産能力各 4.5 百万 T/Y) の増設によりこれに対応する。

さらに、既存設備の能力増強や更なる新規設備の導入により、2005-2008 年には、20 百万 T/Y の供給能力を確保したいとしている。

Global Disclaimer (免責事項)

本資料は石油天然ガス・金属鉱物資源機構 (以下「機構」) 石油・天然ガス調査グループが信頼できると判断した各種資料に基づいて作成されていますが、機構は本資料に含まれるデータおよび情報の正確性又は完全性を保証するものではありません。また、本資料は読者への一般的な情報提供を目的としたものであり、何らかの投資等に関する特定のアドバイスの提供を目的としたものではありません。したがって、機構は本資料に依拠して行われた投資等の結果については一切責任を負いません。なお、本資料の図表類等を引用等する場合には、機構資料からの引用である旨を明示してくださいようお願い申し上げます。

(2) Qatar Gas

North Field ガス田 (埋蔵量 378tcf) 開発の一環で設立された Qatar LNG Co(Qatar Gas) は、1996 年に完成した第 1 トレーンを始め、3 トレーンの LNG 設備を有しており、現状生産能力は合計 6 百万 T/Y であるが、設備上のボトルネック解消によりこれを 8.2 百万 T/Y に上げ、将来的には 9 百万 T/Y にまで能力を増強する計画である。

これにより、日本の中部電力向け供給 (25 年間の長期売買契約, 6 百万 T/Y) に加え、欧州, アジアのマーケット (現状スポット契約のみ) への販売を拡大していく方針である。

この他, Al-Attiyah エネルギー相は、ガス会議において、検討中のパキスタン向けガス・パイプライン (輸送量 16 億 cfd) や近隣諸国向けガス・パイプライン (Dolphin Project, 輸送量 20-30 億 cfd) についても言及し、カタールガス資源のポテンシャルの高さを強くアピールした。

カタールLNG 需給計画

1. LNG 輸出 実績及び今後の計画

	(百万 T/Y)								
	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005-2008
				(予想)	(計画)	(計画)	(計画)	(計画)	(計画)
Qatar Gas	2.2	3.6	5.9	6.2	6.2	6.2	8.2	8.2	8.2
Ras Gas			0.6	3.3	4.2	4.8	6.0	9.5	14.9
(Kogas)			(0.6)	(3.3)	(4.2)	(4.8)	(4.8)	(4.8)	(4.8)
(Petronet)							(0.6)	(2.5)	(7.5)
(Dakshin)							(0.6)	(2.2)	(2.6)
合計	2.2	3.6	6.5	9.5	10.4	11.0	14.2	17.7	23.1

2. LNG 生産能力 (百万 T/Y)

2000 (現状)	Qatar Gas	6.0	3 トレーン×2 百万 T/Y
	Ras Gas	6.0	2 トレーン×3 百万 T/Y (2000/4 より 2 基体制)
	合計	12.0	
2005 -2008 (計画)	Qatar Gas	9.0	3 トレーン×3 百万 T/Y, 設備ボトルネック解消により増産
	Ras Gas	20.0	2 トレーン×3 百万 T/Y, 2 トレーン×4.5 百万 T/Y プラス α (既設増強または新規ライン設置)
	合計	29.0	

(出所) IGR, MEES 等

Global Disclaimer (免責事項)

本資料は石油天然ガス・金属鉱物資源機構 (以下「機構」) 石油・天然ガス調査グループが信頼できると判断した各種資料に基づいて作成されていますが、機構は本資料に含まれるデータおよび情報の正確性又は完全性を保証するものではありません。また、本資料は読者への一般的な情報提供を目的としたものであり、何らかの投資等に関する特定のアドバイスの提供を目的としたものではありません。したがって、機構は本資料に依拠して行われた投資等の結果については一切責任を負いません。なお、本資料の図表類等を引用等する場合には、機構資料からの引用である旨を明示してくださいようお願い申し上げます。